

(A) 「ふふふそこそこ、
ぼくは、もうつまみ食いをして
います。ぼくは、つまみどいの
物人です。そのせいで、つは、
お母さんの手つたいをするばい
をするということです。お母さんが、
皿をはこんで、しねえ、
チャンスです。」

ぼくは、ライバルがいます。
それは、妹です。妹は、お母さ
んか、リョウ理をもて、いるので、
つまみ食を、しませんが。ぼくは
あまり妹のつまみ食いのやり方
が、いいとは思えません。なせ
ならキッチンで、食べると、見
つかりやすいからです。

それと、お母さんたまにつま
み食をしています。味見のため
だよ、というけれど、つまみ食
は、つまみ食です。ぼくは、い
つものように、つまみ食を、し
ているけど、お母さんそ、なん
かいもしています。

(B) ぼくは、つまみ食が、大好き
です。なぜなら、つまみ食を、
して食べたものは、せう、ひんご
です。けれど、見つめると、そこ
もおくられます。